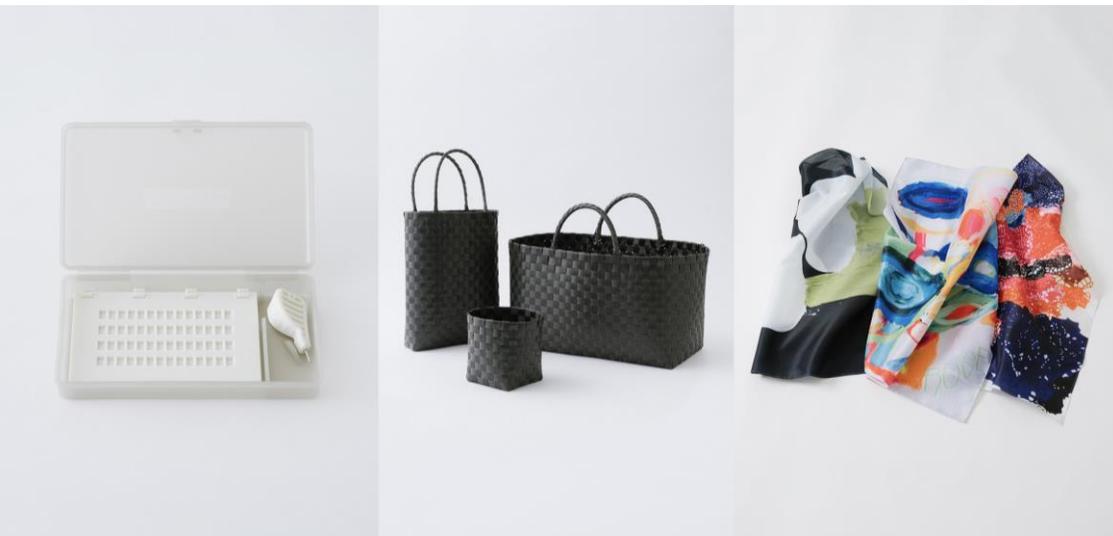


「で、おわらせないPROJECT」



Features : 創造的再利用を目指す社会課題対応型のアップサイクルプログラム

オフィス等で使用されなくなったクリアファイルなどのプラスチック製品に着目、これらプラスチック製品を再資源化し、創造的再利用を目指す社会課題対応型のアップサイクルプログラム。非製造業や都市型の企業でも、日々の企業活動の中で、無理なく取り組める仕組みを目指す。第1弾では、名刺用凸面点字器「ten・ten」、第2弾では、再生PPバンドでつくる「loop・loop」、第3弾では、サステナブルフロシキ「HYAKU-YOU」と、現在は第3弾の取組まで進んでいる。

Innovation : 自分事として捉えてもらうための「体験設計」を重視

プロジェクトでは、自分自身もサーキュラーエコノミーの活動に参加していることが実感できるような仕組みが重要と捉え、体験の設計にも取り組んでいる。具体例として、第1弾で取り組んだ「ten・ten」の例がある。国内電通グループでは、アップサイクル製品として完成した点字器を活用した点字講習会を開催し、100名以上が参加した。開催後、参加した社員が、自身で点字を入れた名刺を活用するなど、自分事として捉える社員が増えた。

Future : 「で、おわらせないプロジェクト」のプラットフォーム拡大を目指す

今後も電通をはじめとした国内電通グループ各社及び、パンテック社など多様なパートナーとがタグを組みながら、アップサイクルを目指す本プロジェクトの経験をもとに、サーキュラーエコノミーを他の企業でも取り組めるよう企画・提案していきたい。その中でプラットフォームを広げていくとともに共創のネットワークも構築していきたい。

アップサイクルする上での課題に共創で向き合いながら
「環境負荷の低減」と「DEIへの貢献」の2つの価値を提供

Find VALUE ~みつける~

本プロジェクトでは、「環境負荷の低減」に加えて、「DEI(※)への貢献」の2つの価値を設計している点がユニークである。特に、「DEIへの貢献」は、企業からも注目されている視点である。本プロジェクト推進にあたり、障がいのある方の就業、雇用を促進する特例子会社電通そらりのメンバーも一緒に、クリアファイルの回収や分別を進めてきた。他にも、アセンブリ工程において障がいのある方の超短時間雇用を実践したり、デザインに知的障がいのある作家のアートを採用するなど取り組んできた。

Create VALUE ~つくる~

プラスチック分野のリサイクルに知見やネットワークがあるパンテック社協力のもと、国内電通グループ内で回収するクリアファイル、ペットボトル、防災用ヘルメット等から、何が作れるか、こういうものを作れないかと、共に試行錯誤してきた。100%再生材で作ることが難しい点、気を付けるべき事項等、密なコミュニケーションをとりながら実装に至っている。

Share VALUE ~つたえる~

グループの経営方針である「B2B2S (Business to Business to Society)」を体現するシンボリックなプロジェクトとして、アワードへの応募や社内向けにアップサイクルプロダクトを体験できるワークショップや講習会を開催したり、顧客に対して自社らしいノベルティとしてお渡しするなどしながら、取組内容の発信及びプラットフォームの普及を進めている。



(オフィス等で使用されなくなったプラスチック類)



「で、おわらせないPROJECT」プロセス概要

Player

(株) 電通	プロジェクト、プラットフォームの企画立案、アップサイクル商品企画
(株) 電通プロモーションプラス	アップサイクル商品企画
(株) 電通プロモーションエグゼ	アップサイクル商品開発、進行管理
(株) 電通そらり	不要になる物品の回収及び分別
(株) 電通コーポレートワン	不要になる物品の事前の情報共有や管理
(株) パンテック	共創パートナー。プラスチックのリサイクルの観点から、商品化実現をサポート。

※「DEI」は、「Diversity (ダイバーシティ、多様性)」「Equity (エクイティ、公平性)」「Inclusion (インクルージョン、包括性)」の頭文字からなる略称。